

R^{レポート}eport.

南通市第三中中学生代表団来豊!

豊橋市の友好都市、中国江蘇省南通市から、南通市第三中中学生代表団22名が来豊しました。南通市第三中学校は、昨年の中学生海外派遣団の訪問校で、今回来豊した生徒20名のうち7名がホストファミリーとして協力いただきました。そこで、昨年度と今年度の派遣中学生の家庭がホームステイを受入れ、相互の日常生活を体験し交流を深めました。

また、市役所表敬訪問、市内の施設見学のほか、豊橋市立中部中学校では学校生活を体験するなど、同世代による文化の交流、友好親善が深まった3日間となりました。

南通市第三中中学生代表団 来豊記録

【日 程】平成23年9月29日(木)～10月1日(土)

【来 豊 者】中学生20名、引率2名 計22名

【主な内容】中学生家庭でのホームステイ、市役所表敬訪問、中部中学校での交流活動(学校紹介、授業参観、給食体験、文化交流会等)、総合動植物公園、自然史博物館見学

ホームステイ対面式



待ちに待った再会



市役所表敬訪問



中部中学校での交流活動



別れの時

南通市生徒から

- ・豊橋のホストファミリーは、自分の家族みたい。みんな優しく3日間があっという間だった。
- ・学校生活は、のびのびとしていてうらやましい。屋外にプールがあるなんていいな。
- ・部活動が楽しそう。日本の学校へ通ってみたい。でも給食は南通の学校より量が少ないかな。
- ・中部中の生徒は、生き生きとしていてみんな自発的、私たちを楽しませてくれた。

豊橋のホストファミリーから

- ・家では、お互いの特技を披露したり、たこ焼き作りを楽しんだ。また機会があったら受入れしたい。
- ・豊川稲荷へ行ったり、プリクラを一緒に撮った。日本の流行りを知っていて会話がはずんだ。
- ・お互いの家庭を訪問したので、兄弟のように親しくなった。中国でお世話になったお礼ができたかな。

災害時通訳ボランティア 救急救命講習

豊橋市国際交流協会では、昨年6月に豊橋市内で地震、風水害等の災害発生時に、日本語の通じない外国人被災者への支援を行うための災害時通訳ボランティア登録制度を設置。本年度の登録更新では、10か国語に対応できる外国人や日本人合わせて55人が登録しています。

9月9日には、中消防署で行われた初級救急救命講習会にブラジル、ペルー、インドネシア、ルーマニアなど、日本を含む6か国18人のボランティアが参加し、人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの使用方法など心肺蘇生法を中心に学びました。



ハートにキュン！ 親・近・感！



豊橋商工信用組合

理事長 兵藤 俊朗

豊橋市駅前大通三丁目55番地 TEL (0532) 53-2828